1989年5月8日第三種郵便物認可　2015年1月15日**不屈**　（毎月15日発行）**No.487**

謹賀新年

千葉県銚子市犬吠埼の初日の出　三浦眞清撮影

不屈

No.487

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

編集発行人針谷宏一

〒113-0034　東京都文京区湯島2－4－4
平和と労働センター・全労連会館
電話　03(5842)6461
FAX　03(5842)6462
E-maill
chian@bz03.plala.or.jp

頒価　50円

主な記事

●新年のあいさつと決意……2
●新春随想／菱谷良一、石川康宏、ケイ・シュガー……4
●顕彰碑／加藤虎之助……5
●時の焦点／師走選挙「自共対決」鮮明に……5
●抵抗の群像／田口ツギ……6
●同盟文芸／短歌・俳句・川柳　年間秀作選……7

たたかいはいまから

仲松　庸全

画期という言葉の重みぴったりの十万票差四方（よも）にとよめく（知事選勝利）

保革こえて安倍の心臓痛打するオール沖縄ジュゴンも踊る

たたかいは正にいまから一歩だに辺野古は退かず地球を守る

この沖縄（しま）から日本を変える大志（こころざし）未来社会にみちびかれつつ

基地のない世果報（ゆがふ）を給えあらたまる年への祈り老媼（おばあ）の背中

（新日本歌人協会会員・同盟沖縄県本部共同代表）

1989年5月８日第三種郵便物認可　2015年1月15日不屈　（毎月15日発行）No.487

新年おめでとうございます

柳河瀬　精

総選挙では同盟運動を最も支えてくれる党が大躍進しました。ともに喜びあいたいと思います。

安倍内閣の暴走ストップ。「海外で戦争する国」許すな。集団的自衛権の閣議決定撤回。秘密保護法廃止。追撃のたたかいをいっそう強めなければなりません。

今年は終戦70周年。国民は戦後の憲法で、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにする」ことを世界に誓いました。平和を貫き「戦争をする国」を許さない決意を実行して行かなければなりません。改憲を許さない声もいっそう大きくしなければなりません。

安倍首相や靖国派のアキレス腱は歴史認識です。慰安婦問題では国際的包囲網がますます強くなっています。侵略戦争・植民地支配に謝罪せよと要求する声を強めなければなりません。

今年は治安維持法廃止70年。人権無視の治安維持法弾圧に謝罪せよと要求する声をもっと大きくしなければなりません。

「ふたたび戦争と暗黒政治許すな」「21世紀を平和と人権の世紀へ」同盟の旗印を高く掲げていっそう奮闘する決意です。

東北ブロック開催県として

青森県本部会長　舘田篤広

新しい年を迎えましたが、秘密保護法施行をはじめ、海外で戦争する国づくりの暴走を許さない闘いは、ますます重要になってきました。今年は中央本部大会の開催が予定されています。

（3ページへつづく）

賀正　中央本部役員・顧問

会長　柳河瀬　精

副会長　石村　善治　井上　敏江　栗田　翠　最上　建造　矢島　恒夫　山崎　元

事務局長　針谷　宏一

事務局次長　小池　荘市　田中　幹夫

常任理事　高野　五郎　藤田　廣登　澤田　勝雄　吉鶴　学　菅野　亨一　横山　博子　大澤　淳基　牛山　靖夫　瀬野　幸男　中嶋　育雄　平野　時英　安藤　郁子　東　巨剛　清水　邦治　小室　仁彌

高根　賢一　植田　泰治　小原　靖　紺野　君子　柄澤　義郎　遠山　茂治　遠山　武　北口　吉治　若山　晴史　長井　君江　岡本　康　塩田　一行　岩下美佐子　有川　功　藤本　護　田辺　実　保田　慶子　勝部　庸一　中元　輝夫　梯　富子　田中　和夫　森岡　幸一　上田　実　戸次　達雄　天水　貞照　上野　隆司

会計監査　吉田　忠文　松井　久雄

理事　北海道　増山　和則　青森　舘田　篤広　岩手　小杉　正夫　宮城　根本　京子　秋田　高田　博　山形　国井　浩丞　福島　加藤　起　茨城　久保田俊雄　栃木　小貫　暁　群馬　長谷田直之　埼玉　加納　幸子　千葉　中村日出丸　東京　阿部　俊雄　東京　井藤　英治　東京　志賀　正　神奈川　村田　泰子　神奈川　山田　良夫　山梨　高取　国勝　長野　藤澤　嘉正　新潟　佐藤　良夫　富山　堀口　尚　福井　吉田　一夫　石川　金子　視好　岐阜　交告ちづ　静岡　江川　佐一　愛知　飯田　勇　愛知　神谷　暢　三重　橋本　茂　滋賀　西田　清　京都　三原　哲　京都　芝井　清生　大阪　鳥本　高男　大阪　柴田　雅子　大阪　大石喜美恵　兵庫　戸崎曾太郎　奈良　加藤　宣之　和歌山　綱本　和代　和歌山　鶴田　至弘　鳥取　竹中　寿健　島根　大森　祥子　岡山　小山　博通　広島　長妻　國和　山口　岡藤　和代　香川　孝岡　弘子　徳島　大栗　丸人　愛媛　堀内　英昭　高知　岡村　正弘　福岡　内田　明道　佐賀　関谷　敏正　長崎　力武　晴紀　熊本　國宗　直　大分　遠入　建夫　宮崎　日髙　脩　鹿児島　里山　和子　沖縄　上原　清治

事務局員　岡部八千代

顧問　近江谷昭二郎　神戸　照　都留　忠久　冨矢　信男　溝渕　政子　宮田　勝　四津谷伸子　島津　昭

（2ページからのつづき）

青森県は東北ブロック会議の開催県、380人の同盟会員の実現、3000筆の国会請願署名の達成に、会員と力を合わせて奮闘する決意です。

支部建設と顕彰活動に本腰を

千葉県本部会長・中村日出丸

昨年は千葉県同盟の活動の幅を広げる努力をしました。支部がない都市での支部づくり、市川支部に代表される講演会や学習会の開催、「京都女性交流集会」への参加などです。

今年は女性部の確立、県出身、県内で活動した革命家を偲ぶ集い、県都千葉市で支部を確立します。

戦争と暗黒政治への道許さず

福井県本部会長・西村明宏

昨年、県本部会長に就任しました。私の青年時代、活動の原点は、戦前、治安維持法による弾圧の中で反戦平和を貫いて不屈に闘った人たちのことを知ったことでした。

戦後70年の今、安倍政権が秘密保護法、集団的自衛権行使容認など、再び戦争の道を進めていることは許せません。「戦争と暗黒政治」阻止を決意しています。

安倍反動内閣の歴史認識と闘う

愛知県本部会長　祖父江　儀男

戦後の日本は、アジア諸国民と日本人民に、筆舌に尽くしがたい苦しみをもたらした戦争を、二度と再び許さない決意から出発しました。

侵略戦争であったことを認めない安倍反動内閣は、憲法9条をないがしろにし、戦争をする国へと舵を切りました。年頭に当たり、国賠同盟は全力をあげて安倍反動内閣と闘うことを表明します。

2つの署名運動の大飛躍を

兵庫県本部会長　小西武雄

安倍首相など「大東亜戦争」礼賛派が自民党を乗っ取り、改憲時・時代逆行など特異な歴史観を持つ次世代の壊滅、維新などウルトラ右翼勢力が得票・議席で後退するなかで「同盟支持勢力」の大躍進。この情勢を大いに生かし、会員拡大、二つの署名―治安維持法とレッド・パージの国会請願署名の大飛躍をめざして奮闘する決意です。

戦後70年を迎えた今年こそ

島根県本部会長　寺田哲郎

沖縄の尊厳を守った知事選挙、「オール沖縄」で反共攻撃を打ち破って、全選挙区から自民党を締め出した沖縄の総選挙。

その見事な教訓から真摯に学び、同盟の原点に立って、あらためて県同盟の活動の改善・強化に努力し、戦後70年を迎えた今年こそ、歴史認識をただす闘いで貢献し、国賠署名でも目標達成を目指す決意です。

諸課題に正面から取り組みを

香川県本部事務局長　田中和夫

総選挙は四国では議席回復がならず、残念な結果となりました。それだけに政権の暴走に対し、同盟各県本部の目標やそれぞれの課題に正面から取り組み、一層の奮起が求められています。各県がより連絡をとりあいながら、会員拡大、女性部強化、役員体制の充実に努力していく決意です。

水車

国民の審判は下された。第47回総選挙。自民は、4減したものの与党が3分の2で政権維持となった。

一方、その対極にあり興望をになった日本共産党は21議席、議案提案権を得る大躍進となった。「自民の右に太い柱を立てる」と主張した次世代は2議席へと激減▼なかでも沖縄での米軍基地撤去を求めた「オール沖縄」勢力は全4選挙区で勝利、共産党も1議席獲得など今後の政局に重大な影響をおよぼす県民の良識が示された▼マスコミは安倍首相が改憲に強い意欲を表明したことから、「一強」の独走が続くと指摘。共産党は何よりも「悪政に反対する国民との共同で追い詰めていく」と主張、まさに「自共対決」の様相▼選挙期間中、国民の原発や秘密保護法施行反対の政治活動が堂々と展開されたことは、かつてなかった。全国各地の同盟が、「日米開戦73年」等のビラを配布、宣伝活動を行ったが「国民と共に」は本年も同盟の重大な課題だ。（仁）

新春随想

70年前に戻してはならない

菱谷良一

新しい年を迎え、あらためて誓いたいことがあります。昨秋、同盟の全国女性交流集会に招かれ、治安維持法弾圧の体験発表の機会を得ました。その際同席した先輩の方々が、百歳を超えた高齢にもかかわらず貴重な体験発表の結びに固く信念披瀝された姿に非常な感動を覚えました。

今年は、太平洋戦争終結（敗戦）より70年の節目を迎えます。と同じく悪法・治安維持法も、連合軍の圧力があったとはいえ廃止された年でもあります。

今日、戦争というものには縁がなく、一見平和そうに見える日本も、近年、〝平和〟と〝自由〟が脅かされそうな空気を感じてきているのは私だけであろうかと一抹の不安がよぎってきます。

70年前のあの暗い不自由、且つ生命の危険にさらされかねなかった日本に再び戻らせてはならない。そのためには、一介の老人ながら機会あれば強く訴えていきたいと心に誓う今日です。

（「生活図画事件」弾圧犠牲者）

資本主義発展の研究を

石川康宏

今年は、ゆっくり温泉にでもつかりながら、ひとつ大きな研究をまとめたい。たまには、そんな願いも綴ってみたいのですが、いまのような政治の状況では、とても叶いそうにありません。大企業や富裕層など経済的強者だけを支援するものから、すべての人の生活を支えるものへの政治の転換に向け、やはり忙しい日々を送っていくしかないようです。

今の時代を生きる者の宿命として、前向きに受け止めていきましょう。

その中で、なんとか積み上げたいのは、資本主義の発展についての研究です。雑誌『経済』の新年号で、問題提起をさせてもらいましたが、資本主義が自分の足で立ってからの200年弱を、大きく俯瞰する作業を進めたいと思うのです。剰余価値の拡大を目的とした資本による生産力の発展と、労働者・市民の闘いによる資本主義の改良と。日々の社会的要請に応える中に、両者の関係にかかわる問題意識を忘れず、貫くこと。そこが今年の課題となっていきそうです。（神戸女学院大学教授）

100年前のメッセージ

ケイ・シュガー

地方紙記者をしながら自作曲を通して平和、自由、民主主義、命輝く社会への思いを歌ってきました。

2014年は、悪法強行を繰り返す安倍政権の下で、歴史逆行を許すまいとの一念で、5人の先人たちへの鎮魂歌をCD「未来へつなぐレクイエム」にまとめました。

小林多喜二は小説、山本宣治は国会、鶴彬は川柳、阪口喜一郎は新聞を力に時の権力とたたかいました。

大逆事件の唯一の女性刑死者として、29歳の若さで東京監獄の絞首台に上がった管野須賀子は、最後に「残しゆく我が二十とせの玉の緒を百とせのちの君にさゝげむ」と詠んだそうです。この歌にふれた時、まさに100年後に生きている私たち一人一人に向けたメッセージなのだと思い、胸が熱くなりました。

言論、結社、表現の自由を奪われた時代、命懸けでたたかった幾多の先人、後世の人たちに恥じない生き方をしなければ。

そのために私は何をすべきかを考えながら、今年も歩み続けたいと思います。

（シンガー・ソングライター）

顕彰碑探訪

無産者医療に命を懸けた青年医師
加藤虎之助

大阪北部の吹田市内本町にある市営川面墓地の一番奥に「医師・加藤虎之助」の墓がある。一風変わったモダンな墓碑である。１９０５（明治38）年静岡県下田で生まれ、京都帝大医学部を卒業してすぐ、国鉄吹田駅近くにできた三島無産者診療所の初代所長として住民奉仕の診療に献身。患者最優先の医療活動のさなかに28歳で病死した青年医師の墓である。

15年戦争が始まり、治安維持法による迫害と弾圧に立ち向かって労働者・農民・無産者とともにたたかう青年医師の急逝は大変な悲しみを呼び起こしたにちがいなく、「遺体は現相川病院近くの河原で労農葬にふされ、デスマスクを医師・平沢俊男と彫刻家・浅野孟府が作成。日活美術部長・小栗美二デザインによる墓がたてられた」（三島無産者診療所50周年記念誌）と伝えられている。デスマスクは２つあり、虎之助の生家と、無産者医療運動の伝統を受け継ぐ吹田の民医連・相川診療所で保管されている。

三島無産者診療所が１９３１年8月に開設したのを記念して、毎年8月に相川診療所による墓参が行なわれ、毎月１日には「健康友の会あいかわ」の役員による献花がなされている。そして昨年、虎之助没後80年を記念して「加藤虎之助資料展」が開催され、民医連や国賠同盟関係者など約１３０人がかけつけ、集団墓参も行なわれた。

（同盟大阪本部副会長・松本洋一郎）

時の焦点

師走選挙
「自共対決」鮮明に

自公政権がひそかに解散・総選挙の機会を練りに練ったという師走選挙。結果を一口言えば、議席数では、自公政権与党の大勝、民主伸び悩み、維新の一議席減、共産党の大躍進など。

一方政治的に腑分けしてみると、実は公明が10％増のものの自民は議席減、海江田代表の落選に象徴的な民主の不振、維新の前途暗澹の横ばい、そのウルトラ分派の次世代の壊滅的敗北、そして共産の小選挙区勝利を含む２・５倍増による自共対決の鮮明化などが特徴です。運動のあり方として「オール沖縄」方式が画期的成果を上げました。

「平和と人権の21世紀」めざし、治安維持法体制の再来を許さず、犠牲者の名誉回復を求める、私たち同盟運動の立場からみますと、反共主義に固執する政治勢力が約３７０議席、党利党略の立場で国会請願に拒否的党議拘束を強いる民主の大半を加えると、約４００議席、衆議院全体の80％以上が同盟要求に背を向けている実状。議案提案権を得た21人の共産党議員には、「一騎当千」の活躍が期待されます。

議会制民主主義は国民世論の反映こそが真髄。

憲法９条擁護をはじめ、秘密保護法や集団的自衛権行使、消費税再増税、原発再稼働などに反対する世論が大多数の現状。いずれにせよ総選挙の結果は、憲法改正をめぐる大決戦の到来を予感させています。

総選挙とその後の情勢は、全国的に全分野にわたり「オール沖縄」のような闘いの重要性を教えています。

（一元）

衆院選の当選者数

党　派	当選者	公示前比	小選挙区	比例区
自　民	291	−4	223	68
民　主	73	11	38	35
維　新	41	−1	11	30
公　明	35	4	9	26
次世代	2	−17	2	0
共　産	21	13	1	20
生　活	2	−3	2	0
社　民	2	0	1	1
改　革	0	0	—	0
諸　派	0	0	0	0
無所属	8	−7	8	—
	475		295	180

抵抗の群像

特高の屈辱的な拷問にも屈せず闘いぬいた 田口ツギ

田口ツギ（1903年～1934年）は群馬県群馬郡滝川村（現群馬県高崎市）に生まれました。彼女の人生は、ほぼ小林多喜二（1903年～1933年）が生きた時代とまったく重なります。また多喜二同様に時代の変革を求めたために、治安維持法による拷問によってその生命が絶たれたという共通点もあります。しかし、これまで広井暢子氏によって「いのちがけのレポーター」（『時代を生きた革命家たち』）として紹介されていますが、あまり注目されてこなかったのではないでしょうか。

同盟群馬県本部が昨年8月19日に取り組んだ「田口ツギさん没後80年追悼墓参会」は、日本共産党群馬県委員会との共催として、準備においては地元の共産党群南支部の多大な協力を得て行われました。

墓参会では、ツギのおいにあたる榮通氏の挨拶も受けました。参加者は追悼後、近くの公民館で懇談し、田口ツギのことをもっと多くの人に知ってもらうことが大切さや彼女の遺志を引き継ぐ決意などが語られました。

田口ツギは、1903年10月19日、滝川村の半農半商の家の次女として生まれました。姉の他に3人の妹と1人の弟がいました。滝川小学校を卒業してからは、家事や農業を手伝っていましたが、1920年の恐慌で店が倒産し、母・姉とともに借金返済の中心として朝から晩まで働きながら、前橋の裁縫学校に通いました。この向学心が群馬で生まれた社会運動と結びつきました。群馬では、高津渡の始めた青年運動や新田郡強戸村で起こった小作争議の勝利が全県にひろがり、メーデーも始まっていました。ツギは姉のマチと「詩と歌の会」に参加し、25年1月前橋の農民組合事務所で開かれた「丹野セツの話をきく会」に参加しました。2人は意に添わない結婚話を避ける格好で26年1月末上京しました。

2人は、結婚したばかりの渡辺政之輔と丹野セツの家庭に寄宿しますが、すぐに働いて自活しました。ツギは東京合同労組に加入した上で、精工舎歯車部、東邦製帽、共同ゴム、芥川製菓工場などで働きながら、日本楽器争議や浅野セメント深川工場の争議などに関わります。

この中で東京合同労組の婦人部長になり、関東婦人同盟の結成にも参加しました。しかし、27年8月肺結核になり、帰郷しました。地元では、農民組合事務所などで情勢や古典の学習をしていたようです。

28年2月の共産党が半公然化した総選挙後上京したのが3月14日、翌日三・一五事件で検挙されますが、即日釈放されました。そこで、ツギは野坂竜の家に寄宿して竜の仕事を手伝います。野坂竜は救援会の組織とともに三・一五弾圧からの組織再建のためにソ連のクートベ（共産大学）帰りの活動家と党中央との連絡をつけていました。4月末からは委員長となっていた渡辺政之輔、6月からは関東地方委員会委員長の河合悦三のレポーターとして活動します。

そして8月4日早朝、河合とともに特高警察に検束されます。この時の拷問の酷さを姉のマチは、「署では素裸にして、靴でふみつけるなどひどい拷問で、気絶するまでやられたといっていた。」と証言しています。河合も自分への拷問以上に別室の女性の悲鳴に心を痛めたそうです。この拷問とその後の勾留によって、ツギの肉体は骨と皮ばかりになってしまったのです。病状が悪化し30年保釈され東京・中野区の結核療養施設に入り、解放運動犠牲者救援ハウスの第1号入所者となりましたが、34年8月19日故郷で帰らぬ人になりました。

（同盟群馬県本部・長谷田直之）

同盟文芸

2014年間秀作選

短歌

微笑んで「自衛官募集」歌うAKB48そのイノセント　碓田のぼる選

トに悪寒が走る　東京都　杵淵　智子

二時間をじっくり考え党に来し元校長は九十八歳　静岡県　江川　佐一

わるい時には救急車ででもすぐ来いと医師はやさしき孤老のわれに　広島県　石田寿美恵

オナガ氏の勝利で築け沖縄を「平和の島」と呼べるを見たき　岩手県　小杉　正夫

『歌の風』に非才の吾も出詠し憲法守るスクラムに伍す　大分県　渡辺　幹生

庶民の首絞めんばかりの政策に保守の俺だがと署名しに来る　岐阜県　和田　昌三

集めたり九条署名五万九千余遺言として蓑輪さん逝く　新潟県　加茂川ハル子

同志らのカンパで建てし党事務所「自共対決」躍進を誓う　岐阜県　元山章一郎

幼子は自衛隊服着て喜びぬ疑問持たずに育つを憂う　兵庫県　岸本　守

TPPにJA島根も反対とテレビのCM伝えていたり　島根県　大久保禮吉

〈選のあとに〉新らしい年2015年。歴史の回転軸が大きな音を立てて回るような充実感があります。この状況の中で、言葉も感性も磨（と）ぎ上げていきましょう。歌うことは、生きることです。

俳句

望月たけし選

昭和氷河いくさを棄てて憲法得　石川県　野村　芳泉

湯女（ゆな）太鼓義民起ちあがる林檎村　三重県　橋本しげる

暴走を笑いのめして味噌造る　埼玉県　広瀬　久雄

せせらぎは春のリズムを乗せて来る　鳥取県　大久保禮吉

九条守れの兄の遺言寒署名　兵庫県　岸本　守

川柳

鈴木いさお選

九条は世界に誇る金字塔　大阪府　大和　峯二

解釈でコロコロ変わる自衛権　大阪府　佐々木雅博

立春を待たずに吹いた名護の風　埼玉県　福家　駿吉

税が増え街のお店がまた消えた　神奈川県　山田　良夫

あの孫はとかく戦をやりたがり　宮城県　根本　京子

山本宣治没後85年
別所温泉で盛大に碑前祭

山宣没後85年「山宣碑前祭」が長野県上田市別所温泉安楽寺境内の山本宣治記念碑前で行われました。山宣が治安維持法の死刑法への改悪に最後まで反対して右翼の凶刃に倒れて85年目。京都の宇治山宣会からは、10余人が参加。碑を守り抜いた斉藤房雄さんの遺族の紹介、山宣の3女・井出美代さんのお便りが披露されました。

平林茂衛会長はあいさつで、7月に96歳で亡くなられた山宣3男の浜田繁治さんが生前、山宣の遺志を継いでたたかう人々の輪が広がることを大切にしていたこと、妹の美代さんと碑前で鼎談をしたことなどを紹介しました。

第2部では、田村智子参院議員が「戦争する国への暴走は許しません」と題して記念講演。緊迫した国会情勢と闘いの方向を解明。130人が参加しました。

（「不屈」長野版11月号より）

小林多喜二、野呂榮太郎など 1～2月 全国各地の顕彰活動

【北海道】

◇相沢良碑前祭
1月28日（水）11時半　札幌市西区平和の滝碑前／13時　記念の集い　講演・宮田汎

◇西田信春碑前祭
2月11日（水）13時半　新十津川町大和・西田小公園

◇多喜二を語る集い・くしろ
2月14日（土）13時　釧路生涯学習センター　講演・松木新

◇野呂榮太郎・墓碑前祭
2月19日（木）11時　札幌平岸霊園／13時　長沼町・野呂榮太郎小公園

◇小林多喜二墓前祭
2月20日（金）13時半　小樽市奥沢墓地／記念のタベ　18時半　市民センター　講演・宮本阿伎

◇第7回江別の多喜二祭
3月8日（日）14時　江別市ドラマシアターども　講演・宮田汎

【秋田県】

◇第50回秋田県多喜二祭
2月21日（土）13時　秋田市生涯学習センター　講演・高橋秀晴

◇第36回大館小林多喜二記念の集い
2月22日（日）14時　大館市中央公民館　講演・高橋秀晴

【東京都】

◇第26回中野・杉並・渋谷多喜二祭
2月20日（金）18時半　杉並区座・高円寺　講演・田島一

◇東京の多喜二を歩く会
2月20日（金）13時　港区麻布十番→築地　ガイド・藤田廣登

【神奈川県】

◇第14回神奈川七沢多喜二祭
2月21日（土）13時　伊勢原市民文化会館　講演・能島龍三

【大阪府】

◇第9回大阪多喜二祭
2月21日（土）13時半　大阪市立クレオ大阪東　講演・緒方靖夫

【兵庫県】

◇兵庫県小林多喜二記念集会
2月22日（日）13時半　兵庫県民会館　講演・島村輝

◇第13回阪神北小林多喜二祭
2月22日（日）13時半　伊丹市いたみホール　講演・尾西康充

【熊本県】

◇第27回多喜二・百合子を語る早春文化の集い
2月21日（土）14時　人吉市東西コミセン会議室　講演・石子順

第25回全国女性交流集会報告集が完成

第25回全国女性交流集会は、昨年11月9、10日、京都平安ホテルに全国から最大の154人が参加して開かれました。

報告集には、柳河瀬精会長あいさつ、針谷宏一事務局長の活動報告をはじめ、参加者の感動を呼んだ犠牲者の菱谷良一、水谷安子、西川治郎、林直道各氏の発言、石川康宏・神戸女学院大学教授の記念講演「憲法の生きる日本をつくろう」など、写真を豊富に使った全記録です。

頒価1000円、各都道府県本部にお申し込みください。

高橋とみ子没後80年墓前祭

高橋とみ子没後80年墓前祭は、11月16日、仙台市青葉区北山の秀林寺で挙行、15人が参加。大沼同盟県本部会長、遠藤いく子県議があいさつ。焼香して総選挙勝利を誓い合いました。

【訂正】本紙前号7ページ下段5行目に「7月1日　政府が集団的自衛権行使容認を閣議決定」が欠落しました、挿入します。

二〇一五年　元旦

日本共産党
中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷四―二六―七
☎〇三―三四〇三―六一一一

日本共産党
国会議員団
東京都千代田区永田町一―七―一衆議院内
☎〇三―三五八〇―三五三〇

〒112-0014
自由法曹団
団長　荒井新二
東京都文京区関口一―八―六
メゾン文京関口Ⅱ202号
☎〇三―五二二七―八二五五
F〇三―五二二七―八二五七

〒171-8575
全国商工団体連合会
会長　国分稔
東京都豊島区目白二―三六―一三
☎〇三―三九八七―四三九一(代)
F〇三―三九八八―〇八二〇

〒113-8465
全日本民主医療機関連合会
会長　藤末衛
東京都文京区湯島二―四―四
平和と労働センター七F
☎〇三―五八四二―六四五一

〒113-8464
原水爆禁止日本協議会
東京都文京区湯島二―四―四
平和と労働センター六F
☎〇三―五八四二―六〇三一
F〇三―五八四二―六〇三三

〒113-0033
非核の政府を求める会
東京都文京区本郷二―二七―一三
本郷七番館二〇二号
☎〇三―五八四四―六五八八
F〇三―三八一二―九六八六

安保破棄中央実行委員会
東京都千代田区三崎町二―一一―一三
☎〇三―三二六四―四七六四

〒113-0034
日本宗教者平和協議会
東京都文京区湯島三―三七―一三
TS第七ビル五〇二
☎・F〇三―三八三一―〇八四二
平和への祈りを行動の波へ

〒112-0002
新日本婦人の会
会長　笠井貴美代
東京都文京区小石川五―一〇―一二
☎〇三―三八一四―九一四一(代)

〒151-0051
日本婦人団体連合会
月刊『婦人通信』
東京都渋谷区千駄ヶ谷四―一二―九―三〇三
TEL〇三―三四〇一―六一四七
FAX〇三―五四七四―五五八五

〒151-0051
婦人民主クラブ
婦民新聞
渋谷区千駄ヶ谷三―二八　第12富屋ビル三〇号
☎〇三―三四七八―二三一七
F〇三―三四七八―二三一八

〒151-0051
日本民主青年同盟
中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷四―二〇―二
☎〇三―五七七七―五七〇一
F〇三―五七七七―五七〇二

〒170-0005
日本中国友好協会
会長　尾光之
東京都千代田区西神田二―四―一
東方学会ビル3階
☎〇三―三二三四―四七〇〇
F〇三―三二三四―四七〇三

〒170-0005
日本ベトナム友好協会
東京都豊島区南大塚二―一七―一〇
☎〇三―三九四五―八五四三
F〇三―三九四五―九〇七二
Eメール　nv@nvyk.jp

全国借地借家人組合連合会
会長　田中祥晃
東京都新宿区新宿一―五―五
御苑フラット一四〇一号
電話〇三(三三五二)〇四四八

人権と民主主義を守る
日本国民救援会中央本部
東京都文京区湯島二―四―四
平和と労働センター五F
☎〇三―五八四二―五八四二

〒113-8463
レッド・パージ反対
全国連絡センター
東京都北区滝野川三―三―一
ユニオンコーポ四〇二号
☎〇三―三五七六―三七五五

〒113-8465
全国労働組合総連合
議長　小田川義和
東京都文京区湯島二―四―四
全労連会館四F
☎〇三―五八四二―五六一一

〒113-8465
日本国家公務員
労働組合連合会
中央執行委員長　宮垣忠
東京都港区西新橋一―七―一四
西新橋エクセルアネックス三階
☎〇三―三五〇二―六三六三

〒112-0012
全法務省労働組合
中央執行委員長　実川和明
東京都千代田区霞ケ関一―一―一
☎〇三―三五八〇―〇五八四

〒112-0012
全司法労働組合
中央執行委員長　門田敏彦
東京都千代田区隼町四―二
最高裁内

〒112-0012
日本自治体労働組合総連合
中央執行委員長代行　猿橋均
東京都文京区大塚四―一〇―七
自治労連会館
☎〇三―五九七八―三五八〇

日本医療労働組合連合会
東京都台東区入谷一―九―五
☎〇三―三八七五―五八七一

「平和と言論の自由を守ろう」
〒113-0033
日本新聞労働組合連合
東京都文京区本郷二―一七―一七
井門本郷ビル
☎〇三―五八四二―二二〇一

〒110-0013
全日本赤十字労働組合連合会
中央執行委員長　森田しのぶ
東京都台東区入谷一―九―五
日本医療労働会館8階
☎〇三―三八七六―二一八六

〒170-0013
農民運動全国連合会
会長　白石淳一
東京都豊島区南池袋二―二三―二
池袋パークサイドビル四階
☎〇三―三九八〇―六七五九
F〇三―三九八〇―六九五三

最低保障年金制度の実現を
〒170-0005
全日本年金者組合
中央執行委員長　富田浩康
東京都豊島区南大塚一―六〇―二〇
☎〇三―五九七八―二七五一

延期ではなくて、中止を！
消費税をなくす全国の会
東京都北区滝野川三―三一―二〇一
☎〇三―三九四〇―〇四〇一

〒151-0051
生協労連
東京都渋谷区千駄ヶ谷四―一一九
南部ビル三階
☎〇三―三四〇八―〇〇六七

全日本建設交運一般労働組合
中央執行委員長　赤羽数幸
東京都新宿区百人町四―七―二
☎〇三―三三六〇―八〇二一
F〇三―三三六〇―八三八九

〒105-0014
月刊「機関紙と宣伝」
日本機関紙協会
東京都港区芝二―四―九平和会館七階
☎〇三―三四五四―八二四一(代)
F〇三―五四七六―六〇八九

株式会社
新日本出版社
東京都渋谷区千駄ヶ谷四―二五―六
☎〇三―三四二三―八四〇一

全国保険医団体連合会
会長　住江憲勇
渋谷区代々木二―五―五
☎〇三―三三七五―五一一一(代)

〒169-0172
日本のうたごえ全国協議会
新宿区大久保二―一六―三六
☎〇三―三二〇〇―〇一〇六

〒180-0003
劇団前進座
東京都武蔵野市吉祥寺南町三―三三―二
☎〇四二―四九―〇七七〇

(有)勤労者レクリエーション協会
〒170-0013　東京都豊島区東池袋一四六―一三
ホリグチビル六〇一
☎〇三―三九八四―〇四〇一(代)
F〇三―三九八四―〇四〇七

発送代行・一般運送
株式会社　**教宣文化社**
代表取締役社長　中村伸一
埼玉県所沢市坂之下七九四
☎〇四―二九四四―四三三三

日本美術会
第68回日本アンデパンダン展
3月18日～3月31日
国立新美術館（六本木）
☎〇三―五八四二―五六五五

畑田重夫（はただしげお）
一橋大学名誉教授
浜林正夫

国際人権活動日本委員会
議長　鈴木亜英
事務局長　松田順一
東京都豊島区南大塚二―三三―一〇　東京労働会館二F
☎〇三―三九四三―二四二〇

いわさきちひろ作品普及会
東京都杉並区上荻二―三十一―十二
☎〇三―六九一五―一〇四〇

平和と労働センター
全労連会館
公益財団法人全労連会館
理事長　坂内三夫
常務理事　池田寛
お茶の水・文京区湯島一―四―四
☎〇三―五八四二―五六一〇
F〇三―五八四二―五六〇九

自費出版
民主勢力の本づくり50年。
多様な要望に応える高い技術。
相談無料。
光陽出版社・㈱光陽メディア
☎〇三―三二六八―七八九九

信頼と安心の旅
㈱富士国際旅行社
東京都新宿区新宿二―一一―七
☎〇三―三三五七―三三七七（代）
F〇三―三三五七―三三三一七

もっとやさしく地球とくらし
環境・人・技術
㈱きかんし
〒135-0053
東京都江東区辰巳二―八―一二
☎〇三―五五三四―一三三四（代）

泊・横浜事件端緒の地
料理旅館「紋左」
小林多喜二逗留の宿
福元館
〒243-0121
神奈川県厚木市七沢二七五八
☎〇四六―二四八―〇三三四～五
F〇四六―二四八―二二五八

柳瀬正夢研究会
研究誌「ねじ釘」は、治安維持法に抗して反戦平和の絵筆を振るった柳瀬正夢研究の成果を紹介しています。
東京都新宿区喜久井町二九
☎〇三―三二〇五―七九五九

いわきの名山湯の岳に
山代吉宗らの伝統刻む
「民主先駆の碑」探勝歓迎
連絡先
☎〇二四六―四二―二五五三（渡辺）

㈲石川印刷社
代表取締役　石川幸一
〒135-0004
江東区森下四―九―一　304
☎〇三―三八〇一―六五八一

弁護士　澤藤統一郎
〒113-0033
東京都文京区本郷五―三〇―一一
☎〇三―五八〇二―〇八八一
F〇三―五八〇二―〇八八二

あかしあ法律事務所
弁護士　平山知子
新宿区新宿一―一四―五
新宿KMビル六〇二
☎〇三―五三六九―〇七九〇

㈱東部合同会計事務所
葛飾区柴又一―二一―一三
☎〇三―三八二六―〇五一一
F〇三―三八二六―〇五一二

北海道合同法律事務所
札幌市中央区大通西一二丁目
☎〇一一―二三一―一八八八
F〇一一―二八一―四五六九

たかさき法律事務所
札幌市中央区大通西一〇丁目
第三有楽・寺島ビル七階
〒060-0042
☎〇一一―二六一―七七二八
F〇一一―二六一―七七一八

さっぽろ法律事務所
札幌市中央区大通西一〇丁目四番地
南大通ビル三階
〒060-0042
☎〇一一―二七二―一九〇〇
F〇一一―二七二―一八八五

あかつき法律事務所
弁護士　畑地雅之
旭川市四条通一〇丁目　大同生命旭川ビル5階
〒070-0034
☎〇一六六―二二―五二〇〇
F〇一六六―二二―五二一〇

今法律事務所
弁護士　今重一
弁護士　今瞭美
〒085-0835
釧路市浦見一―二一―一三
☎〇一五四―四二―七七三二

小西法律事務所
弁護士　小西憲臣
〒085-0863
釧路市浦見一―二一―一三
☎〇一五四―四二―七七三一

今野大力文学碑管理委員会
責任者　龍登谷繁
〒070-0033
旭川市三条通一六丁目左七号
☎〇一六六―二六―二九一

庄司法律事務所
弁護士　庄司捷彦
弁護士　松浦健太郎
石巻市泉町四―一―一〇
〒986-0825
☎〇二二五―九六―五三三一
F〇二二五―九四―〇四七四

仙台中央法律事務所
仙台市青葉区国分町一―三―一〇
☎〇二二―二二七―二二九一

一番町法律事務所
仙台市青葉区一番町二―一〇―二四
翠ビル二F
☎〇二二―二六二―一九〇一

小林和恵法律事務所
埼玉弁護士会所属
弁護士　小林光淳
弁護士　小林薫亮
南沢市北秋津七―一五―四
ばらビル一F
☎〇四二―九九八―五二二二

大久保賢一法律事務所
〒359-0044
弁護士　大久保賢一
弁護士　村山志穂
弁護士　矢野麻依子
所沢市松葉町一九―八　ビルセンター
☎〇四二―九九八―八八八六
F〇四二―九九八―八八八八

植田裕法律事務所
弁護士　植田裕
山形市旅籠町一―二―一五三
金子ビル3F
☎〇二三―八二―八二四七
F〇二三―八二―八二六七

弁護士　加藤實
山形市木の実町一〇―一八
加藤實法律事務所
☎〇二三―六四二―九二三五
F〇二三―六四二―九二三四

外塚功法律事務所
弁護士　外塚功
山形市七日町一―四―一四六F
☎〇二三―六三四四―一五一五

消費税をなくしましょう
消費税をなくす神奈川の会
横浜市神奈川区神奈川
一―一九―三（神建気付）
☎・F〇四五―四五一―七〇二四

増本法律事務所
弁護士　増本一彦
弁護士　増本敏子
鎌倉市西鎌倉一―三―三
☎〇四六七―三二―六九二七
F〇四六七―三二―一二二六

吉村駿一法律事務所
前橋市本町一―一七―一五
☎〇二七―二三四―八三五七
F〇二七―二三四―八四七八

佐藤秀夫法律事務所
宇都宮市西二―三―五
斉藤ビル二階
☎〇二八―六三五―〇四一三
F〇二八―六三五―七九五五

あおい法律事務所
弁護士　岡田政和
田辺市中屋敷町二四―二一
☎〇七三九―二二―七八三〇

きのくに法律事務所
和歌山市板屋町二二番地
和歌山中央通りビル五階
☎〇七三―四三六―五八一一

弁護士法人ぎふコラボ西濃法律事務所
岐阜県大垣市室町二―二五
☎〇五八四―八一―五一〇五
弁護士　笹田参三・山田秀樹
弁護士　綴喜秀光・松岡真帆
弁護士　井上卓也

弁護士法人ぎふコラボ岐阜法律事務所
岐阜市加納清野町二八　オカダビル4F
☎〇五八―二一六―二八〇八
弁護士　小林明人

弁護士法人名古屋法律事務所
名古屋市中村区則武一―一〇―六
側島ノリタケビル二階
☎〇五二―四五一―七七四六
F〇五二―四五一―七七四九

弁護士法人名古屋北法律事務所
名古屋市北区平安二―一―一〇―三F
☎〇五二―九一〇―七七二一
ちくさ事務所
☎〇五二―七六三―六二四七

川崎法律事務所
弁護士　川崎浩二
豊橋市前田南町一―一―一
タワーレジデンスHADA一〇三号
☎〇五三―五三―二七三三

位田会計事務所
税理士　位田真
三重県四日市市笹川一―五一―一五
☎〇五九―三二―一―六四一一

滋賀第一法律事務所
弁護士　玉木昌美
弁護士　近藤公人
弁護士　永芳明
弁護士　木下康代
弁護士　樋口真也
滋賀弁護士会所属
大津市京町三―四―一二
アーバン21　5F
☎〇七七―五二三―一一一八
URL http://www.shigadaiichi.com

彦根共同法律事務所
弁護士　木村靖
弁護士　元永佐緒里
弁護士　坂梨勝彦
弁護士　高橋陽一
弁護士　若山桃子
弁護士　岡村庸靖
彦根市旭町六―一二
田中ビル　2F
☎〇七四九―二二―一二五〔代表〕

京都法律事務所
京都市中京区御幸町通り
丸大町下ル　御幸町ビル五階
☎〇七五―二五六―一八八一
F〇七五―二二一―八五〇六

山宣墓前祭にご参加ください
二月五日正午、平等院近く善法墓地

京都第一法律事務所
京都市中京区烏丸通二条上ル蛸薬師町一八〇
ヤサカ烏丸御所南ビル
☎〇七五―二一一―四四一一
F〇七五―二五五―二五〇七

宇治山宣会
宇治市大久保町北の山一一一
☎〇七七四―四八―二四七二
藪田秀雄　気付

長野山宣会
会長　平林茂衛
事務局　平林堂書店内
上田市中央三―八―七
☎〇二六八―二七―一八一〇

浜松合同法律事務所
弁護士　田代博之
登録免許税・国税専門官
浜松市中区早馬町二番地四
☎〇五三―四五三―一六〇六

静岡法律事務所
静岡市葵区馬場町四二―一
☎〇五四―二五四―二二〇五

堺総合法律事務所
弁護士　平岡正和
〃　山守延治
〃　井村浩史
〃　田崎俊彦
〃　上野朝日
堺市堺区一条通二〇―五　銀座ビル六階
☎〇七二―二二―〇〇一六

伊賀総合法律事務所
大阪市北区西天満四―六―四
堂島野村ビル六〇一
☎〇六―六三一二―一七〇五
F〇六―六三一二―一七〇六
〒530-0047

きづがわ共同法律事務所
大阪市浪速区成本町一―九―一九
酒井家ビル一号館五階
☎〇六―六六三三―七六二一〔代〕
http://www.kizugawa-law.jp/
〒556-0013

大阪共同会計事務所
税理士　佐飛淳一
税理士　早川英男
大阪市中央区安堂寺町二―四―一　マタダビル六階
☎〇六―四九六四―五五〇五

関西合同法律事務所
大阪市北区西天満四―四―一三
三共ビル梅新5階
☎〇六―六三六五―八八九一
〒530-0047

奥村昌裕法律事務所
弁護士　奥村昌裕
大阪市北区西天満二―二―九
西天満パークビル4号館6階
☎〇六―六三六〇―六五六七
F〇六―六三六一―六五六八

北大阪総合法律事務所
大阪市北区西天満二―一四―一六
☎〇六―四三〇二―五一五三
F〇六―四三〇二―五一五九

杉山彬法律事務所
藤井寺市藤井寺一―一―一三
第一芝田ビル三階
☎〇七二―九三一―五五〇一
F〇七二―九三一―五五〇二

税理士法人京阪総合会計事務所
税理士　松谷正俊
税理士　疋田英司
税理士　中冨愼
枚方市西禁野二―四―一七
第五松葉ビル三階
☎〇七二―八〇五―九二二一

税理士法人京阪パートナーズ
大阪府寝屋川市寺里町之町一〇―五
別当ビル二階
☎〇七二―八三五―一七八八
F〇七二―八三五―一七八九
〒572-0084

京橋共同法律事務所
大阪市都島区東野田町二―二―一四
第五京橋ビル
☎〇六―六三五六―一五九一

新川司法書士事務所
司法書士　新川眞一
岸和田市加守町四―三〇―五
☎〇七二―四四四―九九三一
F〇七二―四四四―九九三二

中井税理士事務所
税理士　中井士朗
大阪市北区堂島浜一―五　北浜ビル
☎・F〇六―六三六五―七三六〇

株式会社清風堂書店
大阪市北区曽根崎二―一―一六
地下鉄東梅田駅6番出口前
☎〇六―六三一二―三〇八〇

弁護士法人阪南合同法律事務所
弁護士　岡本一治
弁護士　山崎国満
弁護士　半田みどり
弁護士　國本依伸
弁護士　十川由紀子
弁護士　下迫田浩司
弁護士　南部秀一郎
岸和田市沼町一三―一二
☎〇七二―四三八―七七三四
F〇七二―四三八―三六四四
〒596-0053

奈良合同法律事務所
弁護士　吉田恒俊
奈良市登大路三六番地
大和ビル四階
☎〇七四二―二六―二四五七

あいおい法律事務所
神戸市中央区相生町一―二―一
東成ビル4階
☎〇七八―三七一―二〇六〇

兵庫県弁護士会所属・弁護士法人神戸あじさい法律事務所
代表弁護士　増田正幸
〔神戸事務所〕
神戸市中央区中町通二―一―八
日本生命神戸駅前ビル10F
☎〇七八―三八二―〇一二一
〔三田事務所〕
三田市中央町四―五　三田ビル6F
☎〇七九―五五三―八八一五

豊岡合同法律事務所
弁護士　前田貞夫
弁護士　本下和茂
豊岡市寿町八―三〇　ビルやまとぐち2階
☎〇七九六―二三―六二五〇

播磨共同経理事務所
加古郡播磨町野添一六五六―一
八木ビル二〇（JR土山駅3分）
☎〇七八―九四一―八八三七

姫路総合法律事務所
姫路市大黒壱丁町五〇
☎〇七九―二二二―〇六八四
F〇七九―二八一―三九〇七

安田・林・水田 法律事務所
鳥取県米子市東町二九六
☎〇八五九―三三―一〇一九

朝本法律事務所
弁護士　山田慶昭
弁護士　朝本孝一
広島市中区上八丁堀三―六
第二うえのやビル
☎〇八二―五〇二―七二八〇

恵木尚法律事務所
広島市中区上幟町三―二五
レオビル五〇一
☎〇八二―二二七―七六二二

岡山合同法律事務所
弁護士　石田正也
弁護士　則武透
弁護士　宝利陽子
〒700-0807
岡山市北区南方二丁目八―二五
☎〇八六―二二二―八七二七
F〇八六―二二二―八七七七

呉合同法律事務所
弁護士　高盛政博
呉市中央五―一―三―二〇一
☎〇八二三―二一―〇二五七

山口第一法律事務所
弁護士　内山新吾
弁護士　田中礼司
弁護士　横山詩土
山口市中央四―二―四
☎〇八三―九二二―七六〇〇

弁護士法人ピース
代表弁護士　田川章次
下関市貴船町三―一―一
下関中央ビル
下関中央法律事務所☎〇八三―二三二―七二六七
門中央法律事務所支部☎〇九三―三七二―七二六七

福岡第一法律事務所
福岡市中央区大名二―一〇―二九
福岡ようきビル二階
☎〇九二―七二一―一二二一
F〇九二―七四一―六六三八

福岡東部法律事務所
福岡市東区香椎駅前二―一五―三
稲光ビル二階
☎〇九二―六六二―一二六〇
F〇九二―六七二―七九五二

筑豊合同法律事務所
飯塚市新立岩六番一六号
弁護士ビル二階
☎〇九四八―二五―五九〇三

ちくし法律事務所
筑紫野市二日市北一―一―五
☎〇九二―九二五―四一一九
F〇九二―九二五―四一二七

黒崎合同法律事務所
北九州市八幡西区黒崎三―一―七
日本生命黒崎ビル四階
☎〇九三―六四二―二八六八

沖縄合同法律事務所
那覇市松尾二―一七―三四
☎〇九八―九一七―一〇八八
F〇九八―九一七―一〇八九

2014年秋季号　**『治安維持法と現代』**　好評発売中

【主な内容】求められる憲法とジャーナリズムの精神―安倍政権の改憲政策とメディア＝丸山重威、日本は過去とどう向き合ってきたか＝山田朗、沖縄は屈しない！「オール沖縄」で県知事選の勝利を＝古堅宗嘉、盧溝橋事件77周年　歴史の教訓は何をよびかけているか＝矢崎光晴、「満蒙開拓」とは何だったのか―日中友好のため　今向き合う＝吉川春子、請願署名は「治維法犠牲者への謝罪と賠償」実現に役立つのか＝増本一彦、治安維持法による死刑判決―朝鮮における弾圧の実態＝水野直樹、弁護士大森詮夫小伝＝岡村親宜、信多まち＝草薙秀一、そしてまた「川柳狩り」がはじまった＝棚沢健、など。　Ａ５判定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌　**企画・編集　治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟**

桑原英武国賠同盟
名誉会長著　**『治安維持法とわたし〈戦後編〉』**

定価1,500円（税込み）

阪大病院に復職し、昼は学内、夜は地域で民主化運動にフル回転、さらに民主的医療運動に東奔西走。80年代からは、治安維持法国賠同盟の指導者として奮闘。資料に『生理休暇読本』『代用監獄の研究』『なぜいま、時効不適用条約か』を全文復刻収録。

申し込みは国賠同盟大阪府本部まで　TEL・FAX：０６（６７７２）７５５５